

二〇二五年度 大学院(博士後期課程) 入学試験問題

(文学研究科 真宗学専攻)

(科目名:第2群)②仏教漢文(真宗学)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

2025年2月24日(月)

※罫線縦書きの解答题用紙に問題番号を記して解答を記入してください。

一、次の(一)～(三)の漢文を書き下し、現代語に訳しなさい。

- (一) 我聞無量寿経、衆生聞是仏名信心歡喜乃至一念、願生彼国、即得往生、住不退転。不退転者梵語謂之阿惟越致。法華経謂弥勒菩薩所得報地也。一念往生、使同弥勒。仏語不虛、此経寔往生之徑術、脱苦之神方。応皆信受。

(二) 又言如是者即指法。定散両門也。是即定辞。機行必益。此明如来所説言無錯謬。故名如是。又言如者如衆生意也。随心所樂、仏即度之。機教相応復稱為是。故言如是。

(三) 若依涅槃経仏性が宗。若依維摩経不可思議解脱為宗。若依般若経空慧為宗。若依大集経陀羅尼為宗。今此観経以観仏三昧為宗。若論所観不過依正二報。

二、次の漢文を読み、以下の設問(一・二)に答えなさい。

言本願力者、示大菩薩於法身中、常在三昧而現種種身、種種神通、種種説法。皆以本願力起。譬如阿修羅琴雖無鼓者而音曲自然。是名教化地第五功德相。

設問(一) 当面の意に沿って、全文を書き下しなさい。

設問(二) 傍線部「大菩薩」について、親鸞における解釈を述べなさい。